

会 員 各 位

熊本市歯科医師会
会長 宮 本 格 尚
(学術委員会会扱い)

令和4年度 第1回歯周病対策プロジェクトセミナーのご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、熊本県歯科医師会の歯周病対策プロジェクトの一環として、標記セミナーを裏面のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

会員の診療所における歯周病治療のレベル向上のため、本年度は全3回のセミナーを企画しております。ご多忙とは存じますが、多くの会員の先生方・スタッフ皆様方のご参加をお待ちしております。会員の先生は、日歯研修カードをご持参ください。

なお、本セミナーは熊本県歯科医師会により、後日ホームページから振り返り配信予定です。そちらを3回すべて視聴されても、修了証を発行いたします。詳しくは、熊本県歯科医師会からのお知らせでご確認ください。

現時点では、マスク着用のうえ感染予防に留意して開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染症の現状に応じて、変更があるかもしれません。

令和4年度 第1回歯周病対策プロジェクトセミナー 参加申込書

申し込み締め切り：7月1日（金）

熊本市歯科医師会事務局 行 (FAX:096-344-9778) ※1歯科医院3名まで

郡市名		会員氏名	
医院名			
職 種 (○で囲むか職種を記入)	参加者氏名 (全員の氏名を記入)		
歯科医師・衛生士・その他 ()			
歯科医師・衛生士・その他 ()			
歯科医師・衛生士・その他 ()			

令和4年度 第1回歯周病対策プロジェクトセミナー

日 時 : 令和4年7月7日(木) 午後7時半～9時
場 所 : 熊本市歯科医師会館 4Fホール
対象者 : 熊本県歯科医師会会員及び会員診療所に勤務する歯科医師及び歯科衛生士
(定員:70名)
会 費 : 無料
講 師 : 東歯科医院 院長 東 克章 先生
演 題 : 『 歯周組織検査に基づいた患者個別の将来予測 』

【抄 録】

歯周炎は歯周結合組織の慢性炎症性の疾患です。歯周病健診(歯周組織検査)まで行えば現在の状態はもちろん30年位の将来を予測することが出来るので継続来院、治療を促すことが出来るのです。歯周炎は治らない病気ですが、生涯継続して病状を安定させ、悪化しないようにすることは可能です。

今回の熊本県歯科医師会の歯周病プロジェクトの一環として行う3回シリーズの1回目は、この歯周組織検査の意義や意味、そして方法についてお話します。そんなことはわかっていると思われる先生、歯科衛生士の方々も是非聞いていただきたいと思います。

この健診で歯周組織検査により、生涯来院してくれる患者さんになり得るかどうかが決まります。健診で動機付けがスタートすることになるからです。

厚労省も予測している通り、治療や修復の時代から予防・メンテナンス、そして口腔ケアの時代に変化しています。今からは歯科の時代にしたいものです。

できるだけ多くの会員の皆様のご聴講をよろしくお願い致します。

【今後のセミナー日程】

第2回目 : 令和4年10月6日(木) 午後7時半～
演題 : 「歯周組織検査に基づいた歯周炎の診断と治療計画のたて方～歯科医師の役割～」
第3回目 : 令和5年1月12日(木) 午後7時半～
演題 : 「セメント質を温存する現代の歯周治療～歯科衛生士の役割～」
講師はいずれも、東歯科医院 院長 東 克章 先生

※ 本セミナーは、全部で3回です。すべて受講された歯科医師及び歯科衛生士には、熊本県歯科医師会より、講師連名の修了証を発行します。

(熊本市外の歯科医師及び歯科衛生士にも発行、令和5年1月講演終了時)